

2011年度

| | | | |
|--------------------|--|-----|-------|
| 科目名 | 日本文学講読V | | |
| 担当教員 | 森崎 光子 | | |
| 配当 | 日文1(2111) | コード | 43012 |
| 開期 | 前期 | 講時 | 木曜日3限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 近代文学の研究とは | | |
| 目的と概要 | この授業では、文学作品の研究の基礎を身に付けることを目標とする。 取り上げる作品は、芥川龍之介「羅生門」と井伏鱒二「鯉」である。特に「羅生門」は芥川の代表作の一つであり、高等学校の国語の授業で習った学生さんも多いはずだ。その作品を大学でも取り上げるのは、高校で文学作品を学習するのと、大学で研究するのでは大きな違いがあり、それを実感してほしいからである。 | | |
| 成績評価法 | レポート2本(75%) + 授業時のミニ・レポート(25%) | | |
| テキスト | プリントを配布する。 | | |
| 参考書 | | | |
| 履修に当たっての注意・助言/準備学習 | 配布された資料を事前に読んでおくこと | | |
| 講義計画 | | | |
| 第1回 | 授業の内容・進め方の説明、受講にあたっての注意 | | |
| 第2回 | 芥川龍之介「羅生門」成立事情(1) | | |
| 第3回 | 芥川龍之介「羅生門」成立事情(2) | | |
| 第4回 | 芥川龍之介「羅生門」成立事情(3) | | |
| 第5回 | 芥川龍之介「羅生門」成立事情(4) | | |
| 第6回 | 芥川龍之介「羅生門」典拠との比較・分析 | | |
| 第7回 | 芥川龍之介「羅生門」内容分析(1) | | |
| 第8回 | 芥川龍之介「羅生門」内容分析(2) | | |
| 第9回 | 芥川龍之介「羅生門」内容分析(3) | | |
| 第10回 | 芥川龍之介「羅生門」初出と決定稿の比較・主題 | | |
| 第11回 | 井伏鱒二「鯉」成立事情(1) | | |
| 第12回 | 井伏鱒二「鯉」成立事情(2) | | |
| 第13回 | 井伏鱒二「鯉」映画鑑賞 | | |
| 第14回 | 井伏鱒二「鯉」内容分析 | | |
| 第15回 | レポートの書き方、まとめ | | |